

住まいるアップ・ニュース

第5号

2011年1月15日発行

高齢期の住まい

NPO法人さっぽろ住まいのプラットホーム理事長（住まいるアップ委員）

山本 明恵

私は、住まいづくりの仕事を通してこれまで多くの方の生き方、暮らし方を見てきた。

住まいはその人、その家族の移り変わりや、大げさに言えば人生観までも写し出される。

住まいづくりに関わりながら、この家でいつまでも長く幸せな日々を送ってほしいと願ってきた。しかし今、急激な少子高齢化、社会情勢の変化により、家族や地域崩壊が進み、一人ひとりが孤立化する淋しい状況となり、今更ではあるが家族はどこへいくのか、先の見えない不安を感じる。住まいは家族をつくり、家族の成長や変化に対応すべく器だと信じて造り続けてきた。しかし、高齢期に新たな住まい探しをしなければならないことで、住まいとは何かを改めて自分に問い直している。高齢期の住まいが何か特別にあるわけではなく、生きていく過程に自然に存在するものであってほしい。住まいはその人らしさを尊重する個性が重視される暮らしの場である。高齢者や障害者にとって、様々な個別な事情にどこまで対応できる



のかがこれからの課題だと思う。安心・安全・快適・等など基本的なハード面は確立しつつあるものの、一人暮らしの精神的なソフト面のサポートがどこまで可能かは難しい。高齢期をどこで、だれと暮らすのかは、自分自身で早い時期に決める時代になってきた。住まいは流行、廃りではなく、個々の人生観をしっかりと反映させる器でなければならない。高齢期の本当の豊かさを感じる住まいとは、結局自分自身の生き方に尽きるのかもしれない。住まいづくりに関わる者として、少しでも豊かな高齢期を過ごせるよう、できるだけ多くの人に考える機会や情報を発信していきたいと考えている。

— 目次 —

- 高齢期の住まい …1
- 「笑って健康！元気な人生！」
市民向けセミナーを
開催しました…2
- 第4回事業者勉強会を
開催しました…3
- 第5回事業者勉強会の
ご案内…4
- スタッフ紹介 …4
- 編集後記 …4

「笑って健康！元気な人生！」市民向けセミナーを開催しました

安心・快適住まいるアップ事業の市民向けセミナーを、11月18日午後札幌エルプラザ大ホールにて開催したところ、210名というたくさんの方々にご参加いただきました。以下、当日の様子についてご報告します。

NPO法人シーズネットの岩見理事長が冒頭で、「今日は、高齢期の住み替えについて皆さんと一緒に考えることと、落語で大いに笑って帰っていただきたい」とあいさつしました。

【高齢期の住み替え体験インタビュー】

住み替え体験インタビューのコーナーでは、実際に札幌市内の高齢者共同住宅に入居している3名の方々に、住み替えのきっかけや日々の生活で思うこと、毎日楽しみにして



南区女性



中央区男性



南区女性

いることなどを、インタビュー形式でお伺いしました。

途中、「終の棲家にしたい」「できることは自分でやる」「毎日の食事が楽しみ」など、とても身近で現実的なお話しになった時には、会場の皆さんも大きく頷くなど、関心の高さが伺えました。

【講演と古典落語】

林家とんでん平（落語家）

”笑って健康！元気な人生！”のタイトルどおり、会場は笑いの渦に包まれました。印象的だったのは「明日の保証はありません。」その日その時”を精一杯楽しんで生きましよう”という言葉でした。お話しが進むにつれ、会場の熱気も高まり、古典落語「初天神」と、手話でうたう「どんぐりころころ」が終わる頃には、皆さん笑顔で、足取りも軽く会場を後にしました。



講演の様子



古典落語

【参加者アンケートより】

参加者210名の中から160名の方々にアンケートへの回答をいただくことができました。講演とインタビューともに「楽しかった」「参考になった」と、全体的に満足いただけた印象ですが、中には、「インタビューでは、失敗談も聴きたかった」「費用についての話も聴きたかった」等の声もありました。

今後も、当事業において、高齢期の暮らしに役立つような情報発信を続けていきたいと思えます。

第4回事業者勉強会を開催しました

第4回「安心・快適住まいるアップ事業者勉強会」を、12月10日午後、札幌エルプラザ大研修室にて開催しました。今回は、事業者や関係者を含めて36名の参加となりました(第2回38名、第3回37名)。以下、当日の様子についてご報告します。

【入居者サービス向上のためには～事例から考える～】

柏浩文氏(北海道社会福祉士会会長)

まず、柏氏の自己紹介を兼ねて「北海道社会福祉士会」ならびに「ボランティア研修センター」の活動状況についての説明がなされました。その後、主に「日常生活自立支援事業」と「成年後見制度」の概要と現在の利用状況について、説明がなされました。続いて、



柏 浩文 氏

高齢者の財産管理と遺産相続について、柏氏の実際の担当事例について解説がされました。最後に、入居者相互、家族連携、地域連携による入居者サービスの向上活動にふれ、講演を終了しました。

【質疑応答】

【参加事業者の意見交換会】

司会 立花和浩(札幌・住まいるアップセンター)

主な質問や意見交換は以下のとおりです。

・成年後見人は、財産管理と身上監護との役

割別に、2名設定した方がスムーズなのか。
・北海道において、成年後見制度の普及が進んでいない原因について。→敷居が高いのと、制度自体が知られていないためと考えられる。



会場の様子

- ・成年後見制度は、費用がはっきりせず、敷居が高いイメージがあるので、利用した方がよいと思われる入居者にもなかなか薦められない。
- ・高齢者住宅の入居者に、利用料金の未払いが生じてしまった場合の対応や事例、対策について。→年金と通帳管理の対応が大事だが、社協でも相談できる。
- ・趣味サークル・クラブ活動の実施例など。
- ・地域との連携についての事例など→高齢者住宅の職員が地域のボランティアに参加することにより、外部との交流が広がり、プラスになっている。
- ・高齢者住宅のスペースを外部に開放したり、住宅のイベントに外部からの参加を受け入れたりする際の、事故等の対応について。

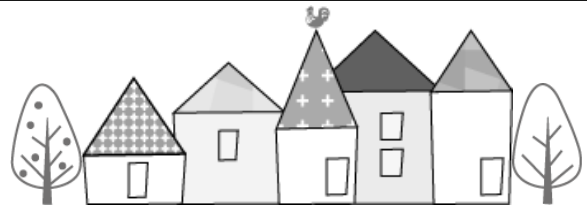
質疑応答では、某事業所での利用料金未払いの対応法についての質問が出され、講師の他、参加者から次々と、事例やアドバイスなどの発言があり、活発なやりとりがなされました。このように、運営に関する対応の具体例について関心の高さがうかがえました。

第5回事業者勉強会のご案内

第5回の勉強会では、高齢者対応住宅における医療・看護・介護の連携について、実例をまじえてお話させていただきます。(参加無料)

- ◆日時:2011年 2月17日(木)
13:45開場 14:00開演 15:50終演予定
- ◆場所:かでの2・7 第720研修室(7階)
(中央区北2条西7丁目)
- ◆講師:國本正雄氏(くにもと病院理事・院長、
NPO法人シーズネット理事)
- ◆内容:高齢者対応共同住宅における医療・看護
・介護の連携
～入居者に対するシームレスなサービスの提供～

※別途ご案内と参加申込書を同封いたしました。
みなさまのご参加をお待ち申し上げます。



【スタッフ紹介】

本事業事務局スタッフを1名ずつ紹介させていただきます。



我妻 実香
(福祉担当)

皆様 はじめまして。昨年12月より福祉担当として勤務しております我妻と申します。

今まで、相談員や介護支援専門員をしていました。その経験と多くの方々から戴いた教えをもとに、今後、更に深刻化していく住宅問題に取り組んでいきたい

と思っております。

現場の声に耳を傾け、利用者様、事業者様に少しでもお役に立てるような情報を、発信できるよう、頑張っていく所存です。不慣れではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

— 編集後記 —

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、高齢者対応共同住宅の事業所の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。「安心・快適住まいるアップ事業」も、来春には3年目を迎えることとなりますが、引き続き、よろしく願い申し上げます。

さて、次号のニュースレターは、3月15日発行予定です。新年も、情報提供を継続して参りますので、ぜひご一読いただくと幸いです。

安心・快適住まいるアップ事業

札幌・住まいるアップセンター(シーズネット内)

TEL 011-708-8567 FAX 011-717-6002

※本ニュースレターのメール配信をご希望の方は、下記アドレスまでご連絡くださいませ。

～新時代を創る高齢者の経験と活力ネットワーク～
SEEDS NETWORK

Seniors' Experiences and Energies for Developing New Systems

高齢者による新しい仕組みづくりの種になりたい、そんな気持ちを込めました。



NPO法人シーズネット

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1番地 SCビル 2F

代表 TEL 011-717-6001 FAX 011-717-6002

<http://www.seedsnet.gr.jp/>

— その他の事業 —

さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業

さっぽろ孤立死ゼロ推進センター(シーズネット内)

TEL 011-708-8686

ひとり暮らしのあなたに、安心をお届けします

おひとりさまあんしんnett事業(シーズネット内)

TEL 011-717-7007

高齢者の住まいるの情報センター

住まいるサッポロ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目2-5 北尾ビル 8F

TEL 011-252-2424 FAX 011-252-0220